

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	包括的統合的アプローチによる日本人早期膵癌の高精度診断の具現化
研究代表者	森 正樹（大阪大学・大学院医学系研究科・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>本研究は、膵癌の早期発見と治療を目指し、オールジャパン体制で臨むものである。これまでに応募者らは食道癌や大腸癌で、遺伝的多型因子・環境因子・腫瘍関連因子からの「三位一体」の研究を展開し、高い評価を受けており、消化管癌のリスク因子やバイオマーカーの発見に大いに貢献してきた。膵癌の早期発見は膵癌の根治を可能にし、世界的にも注目される研究である。「三位一体」の研究計画は具体性が高く、研究体制も充実しており、応募者の高い研究遂行能力から実現性も高い。このように、本研究は、当該研究分野をリードし、臨床へのフィードバックも大いに期待できるものであり、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>